

■海音寺潮五郎 戦時下に{直木賞}を受賞、<敗戦>後、追隨を許さない英雄小説を次々と発表、気骨と孤高の生涯。

かいおんじちようごろう

田中正造直訴1901＝ 鹿児島県伊佐郡大口村で、生まれる。

日露戦争終・1905＝ 4歳：

韓国反日暴動1907＝ 6歳：大口尋常高等小学校に入学。

韓国併合・・・1910＝ 9歳：

教科書以外の読書を禁じられていたため、講談本などを屋根に上って読み、近所で評判になる。

明治天皇没・1912＝11歳：

大正政変・・・1913＝12歳：加治木中学校に入学。

ベルサイユ条約・1919＝18歳：

原敬首相暗殺1921＝20歳：伊勢神宮皇學館に入学するが、

水平社結成・1922＝21歳：恋愛問題から退学し、帰郷して結婚。

関東大震災・1923＝22歳：上京し、国学院大学高等師範部に入学。

治安維持法・1925＝24歳：長女が誕生。

円本時代始・1926＝25歳：卒業し、鹿児島県立指宿中学校に、国漢教師として赴任。

共産党事件・1928＝27歳：京都府立第二中学校に転任。

世界恐慌・・・1929＝28歳：次女が誕生。\*{サンデー毎日}の懸賞小説に応募し、処女作「うたかた草紙」が当選。

満州事変・・・1931＝30歳：長男が誕生。\_{サンデー毎日}創刊十周年記念長編小説に、「風雲」を応募し、

五一五事件・1932＝31歳：\_当選して、連載され、

帝人疑獄事件1934＝33歳：\*{サンデー毎日}大衆文芸賞を受賞。退職し、鎌倉に居を構えて、作家生活に入る。

芥川直木賞始1935＝34歳：貴司山治らの実録文学研究会の同人となり、同人雑誌{実録文学}を創刊。代々木上原に転居。

二二六事件・1936＝35歳：\*豊臣秀吉とその女性たちを描いた「天正女合戦」と「武道伝来記」で直木賞を受賞。一旦辞退後承諾。

日中戦争始・1937＝36歳：

健保+総動員 1938＝37歳：\_{サンデー毎日}連載中の「柳沢騒動」が内務省警保局の内命で掲載打ち切り。

第二次大戦始1939＝38歳：次男が誕生。自ら中心となって、同人誌{文学建設}を創刊。

日米開戦・・・1941＝40歳：陸軍報道班員に徴用され、マライに赴く。戦意高揚後押しに同調せず、無為に徹し、

・・・1942＝41歳：健康を害して、帰国。入院生活となる。

年金+総武装 1944＝43歳：郷里に疎開し、

敗戦・・・1945＝44歳：憂国の念を抱いたまま、敗戦を迎え、執筆活動もせずに、漢籍を読みふける。

新憲法公布・1946＝45歳：三男が誕生。

新憲法施行・1947＝46歳：\_長編小説「風霜」を書き下ろすも、GHQ検閲で発表できず、しばらく王朝ものを執筆。

朝鮮戦争始・1950＝49歳：同人雑誌{GoRo(豪朗)}を創刊。

独立回復・・・1951＝50歳：

メデー事件・1952＝51歳：「明治太平記」、

自衛隊発足・1954＝53歳：\_{読売新聞}に「蒙古来る」を連載、自らの意に反し、日本の再軍備を正当化するものとの批判を受ける。

55年体制始・1955＝54歳：

なべ底不況・1957＝56歳：4年ごしの「平将門」、

美智子妃・・・1959＝58歳：{オール読物}に「武将列伝」連載始め、

安保闘争・・・1960＝59歳：完結。

タイタイ病始・1961＝60歳：3年ごしの「二本の銀杏」、

全国総合計画1962＝61歳：「悪人列伝」、上杉謙信を描いた「天と地と」、

東京リビヅ 1964＝63歳：「孫子」、

霞ヶ関ビル・1968＝67歳：\_菊池寛賞。

全共闘・・・1969＝68歳：\*「西郷隆盛」を最後に、{毎日新聞}に、引退声明を発表。

大阪万博・・・1970＝69歳：\_直木賞選考委員も辞任。

とくに乱世の英雄を描いて右に出るものなく、その男性像は意地と節操を貫く悲壮美と力感にあふれている。また史実に対する調査や解釈も行き届いており、歴史への深い造詣に裏打ちされていることがわかる。

石油ショック1973＝72歳：\_文化功労者。

角栄金脈辞任1974＝73歳：妻が死去。

\_実生活もまた文壇を離れて、薩摩隼人らしい気骨に満ちた孤高の生活を送り、

JALハイジャック・1977＝76歳：\_芸術院賞を受賞後、脳溢血で倒れ、没した。